

2020年度 第2四半期 決算説明会資料

2020年11月5日

きんてん

目次

1. 社長挨拶

- (1) 業績ハイライト … 3
- (2) 今期業績見通し … 4

2. 業績の状況

- (1) (連結) 前期比較 … 6
- (2) (連結) 予想との比較 … 7
- (3) (個別) 前期比較 … 8
- (4) (個別) 予想との比較 … 9
- (5) (個別) 工事種別の状況 (受注) … 10
- (6) (個別) 工事種別の状況 (完成) … 11
- (7) (個別) 工事種別手持工事高の状況 … 12
- (8) (連結) 海外受注・完成工事高の状況
(地域別) … 13
- (9) (連結) キャッシュ・フローの状況 … 14
- (10) (連結) 貸借対照表の状況 … 15
- (11) (連結) 販売費及び一般管理費の状況 … 16

3. 業績分析

- (1) (連結) 完成工事高の増減要因 … 18
- (2) (連結) 営業利益の増減要因 … 19
- (3) (個別) 完成工事高 受注時期別
(配電工事を除く) … 20

4. 業績予想

- (1) (連結) 通期予想 … 22
- (2) (個別) 通期予想 … 23

5. 株主還元

- (1) 配当について … 25
- (2) 自己株式取得について … 26

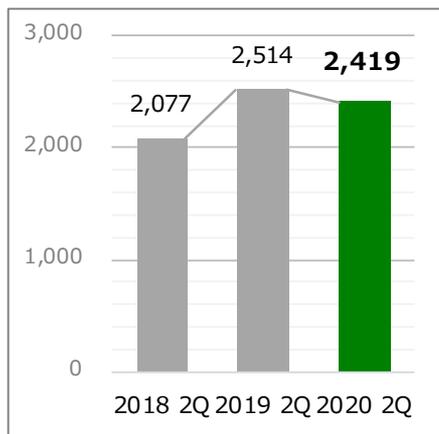
1. 社長挨拶

(1) 業績ハイライト

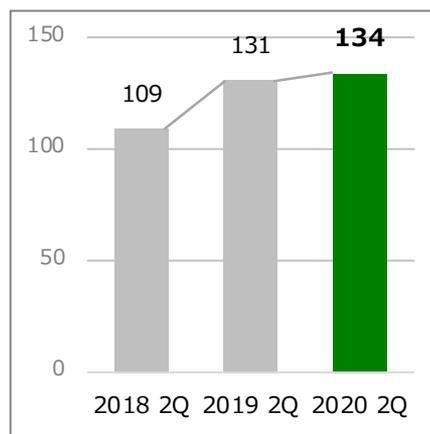
連結・個別共に前年同期比で、売上高は減収、営業利益は増益、純利益は減益となった。

連結

売上高

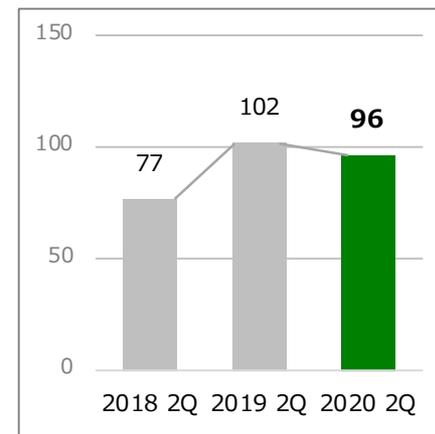


営業利益

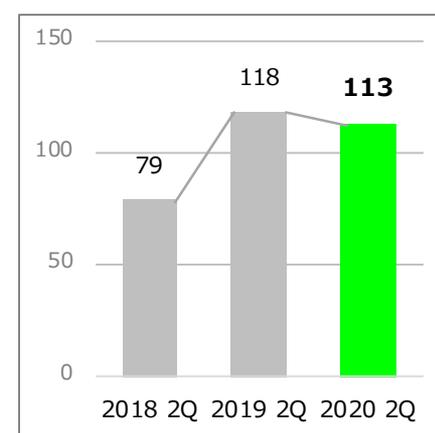
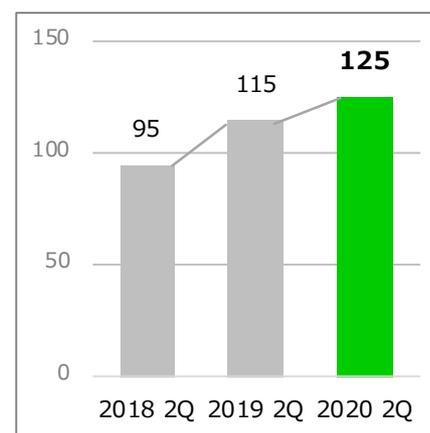
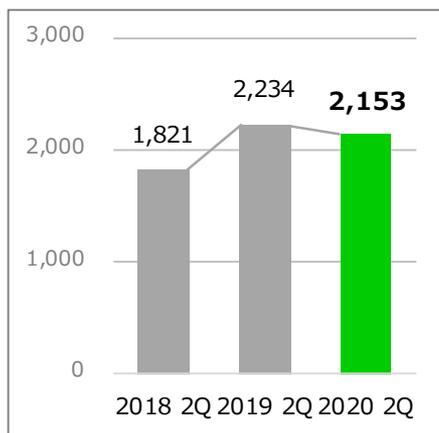


四半期純利益

(単位:億円)



個別



(2) 今期業績見通し

今後、冬に向けてコロナ禍の再燃が危惧されるが、現状では通期予想に変更はない。

但し、足元では計画物件の延期や中止も徐々に出て来ており、受注競争の激化、価格競争の激化が懸念される。

このような環境の中でも地に足をつけて、来期以降を見据えた堅実な経営を目指していく。

2. 業績の状況

(1) (連結) 前期比較

■ 完成工事高は減収

■ 営業利益・経常利益は増益、純利益は減益

純利益の減少は、きんでん個別において前年同期に計上した年金制度改定に伴う特別利益の反動減による。

(単位:百万円)

	2019.2Q	2020.2Q	増減	増減率
完成工事高	251,425	241,943	△ 9,481	△ 3.8%
完成工事総利益	39,557	41,066	1,509	3.8%
完成工事総利益率	15.7%	17.0%	1.3	—
販売費及び一般管理費	26,394	27,570	1,176	4.5%
営業利益	13,163	13,496	333	2.5%
営業利益率	5.2%	5.6%	0.4	—
経常利益	14,185	14,251	65	0.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,225	9,662	△ 562	△ 5.5%
1株当たり四半期純利益	47.13 円	46.40 円	△0.73 円	

(2) (連結) 予想との比較

- 完成工事高は予想を若干下回る
- 各利益は予想を上回る

新型コロナウイルス感染症による業績への影響が、見込んでいた想定を下回り軽微にとどまったため、各利益が予想を上回った。

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	247,000	241,943	△ 5,056	△ 2.0%
営業利益	10,800	13,496	2,696	25.0%
営業利益率	4.4%	5.6%	1.2	—
経常利益	11,700	14,251	2,551	21.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,300	9,662	2,362	32.4%
1株当たり四半期純利益	35.03 円	46.40 円	11.37 円	

(3) (個別) 前期比較

■ 完成工事高は減収

■ 営業利益・経常利益は増益、純利益は減益

新型コロナウイルス感染症の影響は、一般電気工事の現場閉所がGW前後にあったものの、その後工事が中断することなく、第2四半期業績への影響は軽微にとどまった。

(単位:百万円)

	2019.2Q	2020.2Q	増減	増減率
受注工事高	266,316	265,295	△ 1,020	△ 0.4%
完成工事高	223,488	215,397	△ 8,090	△ 3.6%
完成工事総利益	34,413	35,584	1,171	3.4%
完成工事総利益率	15.4%	16.5%	1.1	—
販売費及び一般管理費	22,907	23,070	162	0.7%
営業利益	11,505	12,513	1,008	8.8%
営業利益率	5.1%	5.8%	0.7	—
経常利益	15,200	15,499	298	2.0%
四半期純利益	11,826	11,308	△ 518	△ 4.4%
1株当たり四半期純利益	54.51 円	54.30 円	△0.21 円	

(4) (個別) 予想との比較

■ 完成工事高は予想を若干下回る

■ 各利益は予想を上回る

完成工事高は、一般電気工事・環境関連工事において、当初予想より当期受注当期完成工事の減少などにより、若干下回った。

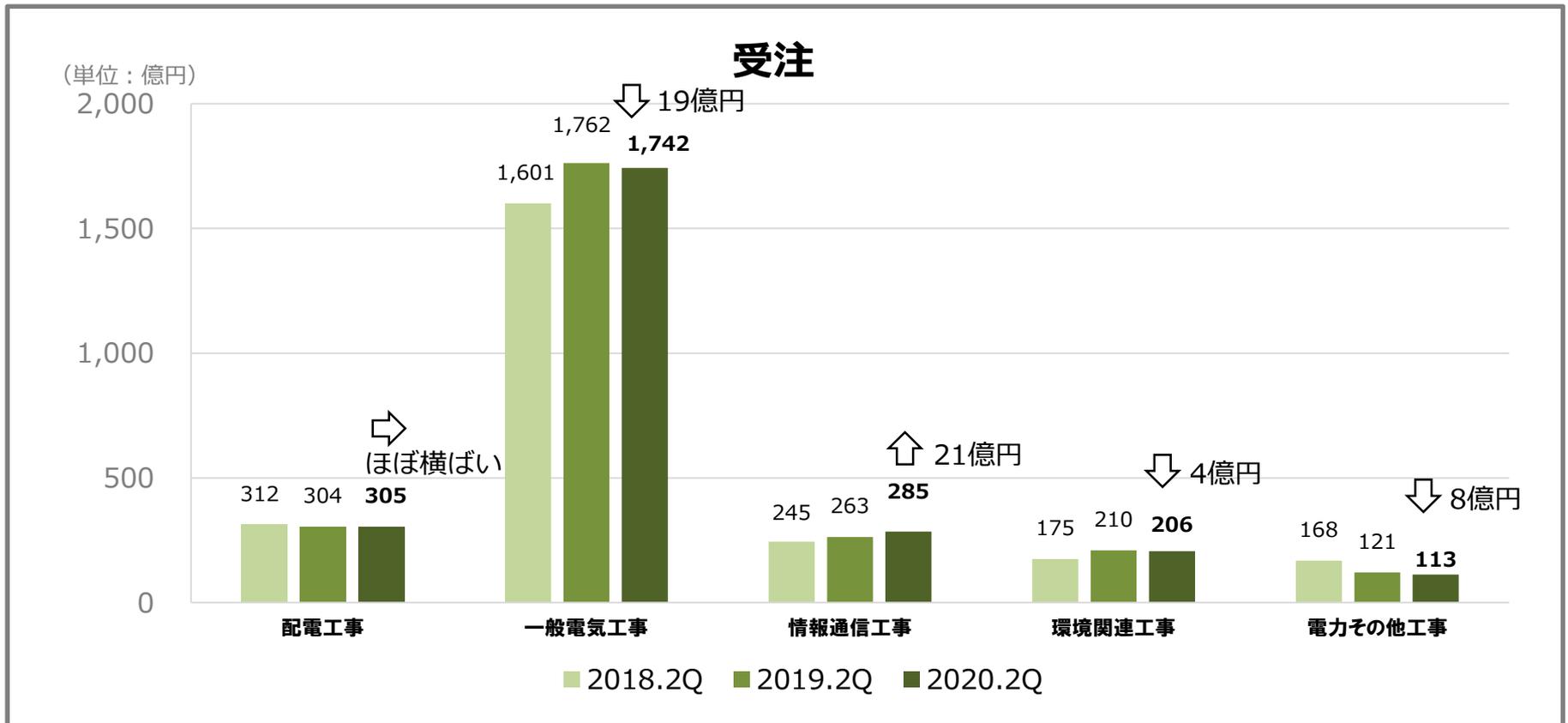
各利益は、連結決算と同様に、新型コロナウイルス感染症による業績の影響が、想定を下回り軽微にとどまったため、予想を上回った。

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	220,000	215,397	△ 4,602	△ 2.1%
営業利益	10,000	12,513	2,513	25.1%
営業利益率	4.5%	5.8%	1.3	—
経常利益	13,500	15,499	1,999	14.8%
四半期純利益	9,500	11,308	1,808	19.0%
1株当たり四半期純利益	45.58 円	54.30 円	8.72 円	

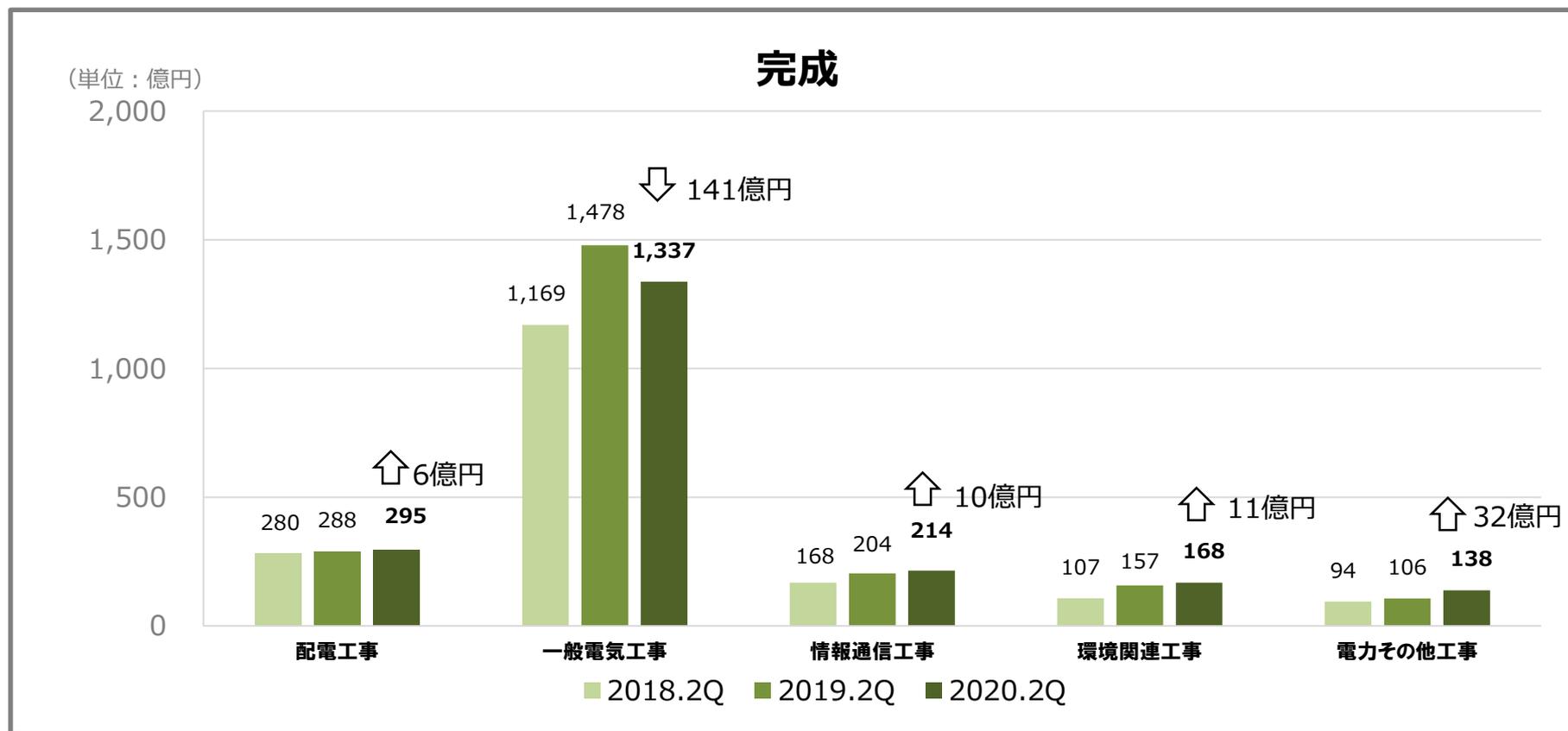
(5) (個別) 工事種別の状況 (受注)

ほぼ前年同期並みの受注工事高を確保することができた。



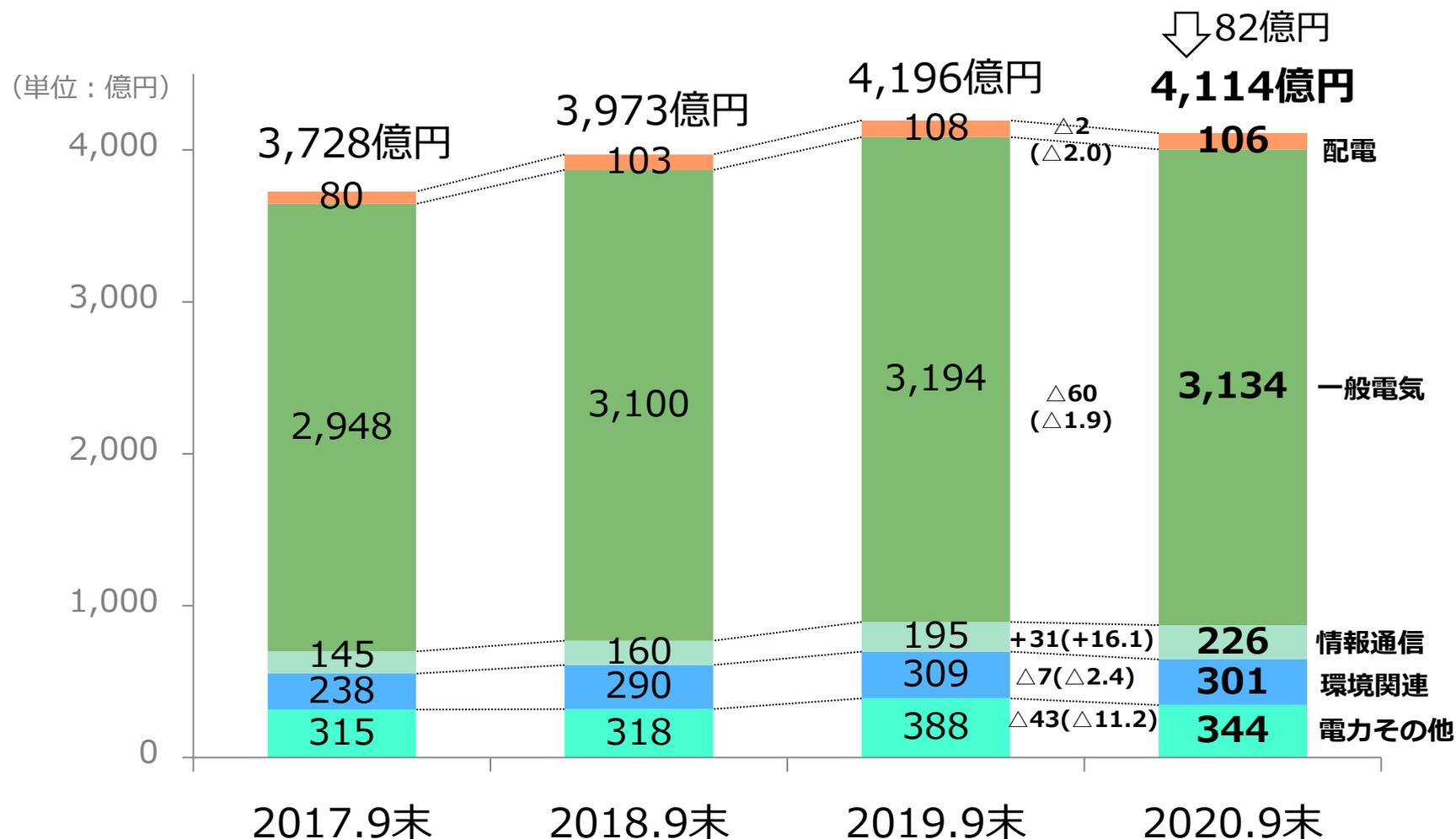
(6) (個別) 工事種別の状況 (完成)

一般電気工事の減少は、期首手持工事高が前期首より減少していたことに加えて、当期受注工事の完成工事高も若干減少したことによる。その他の工事種別への影響はほぼなかった。



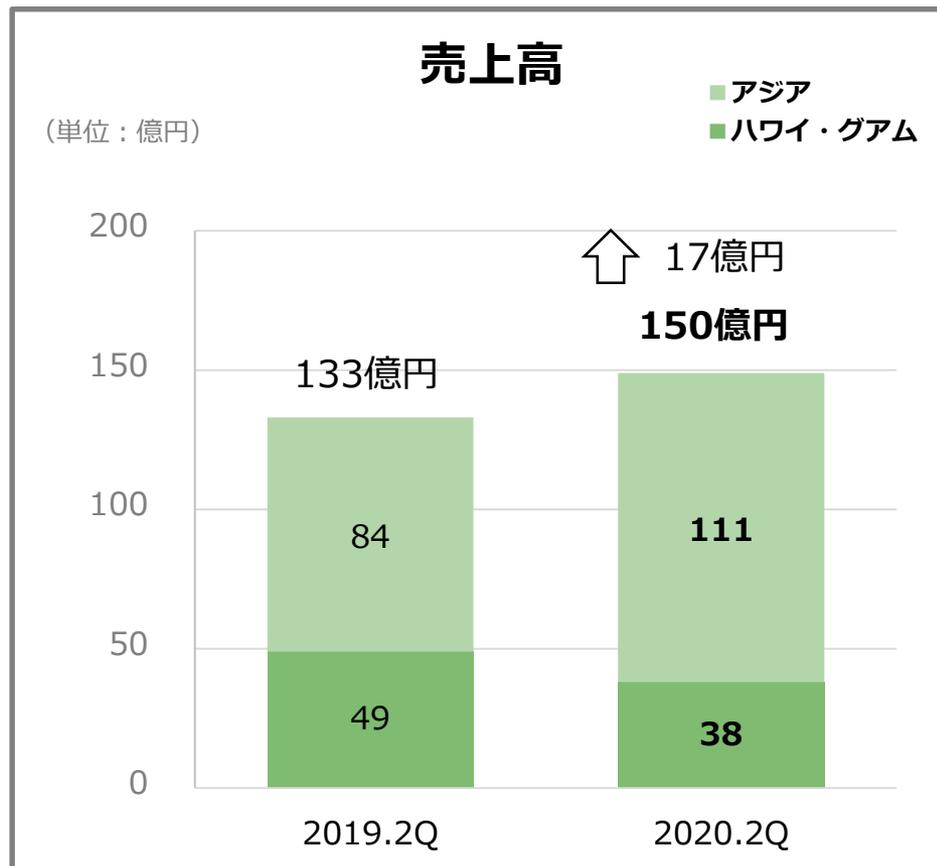
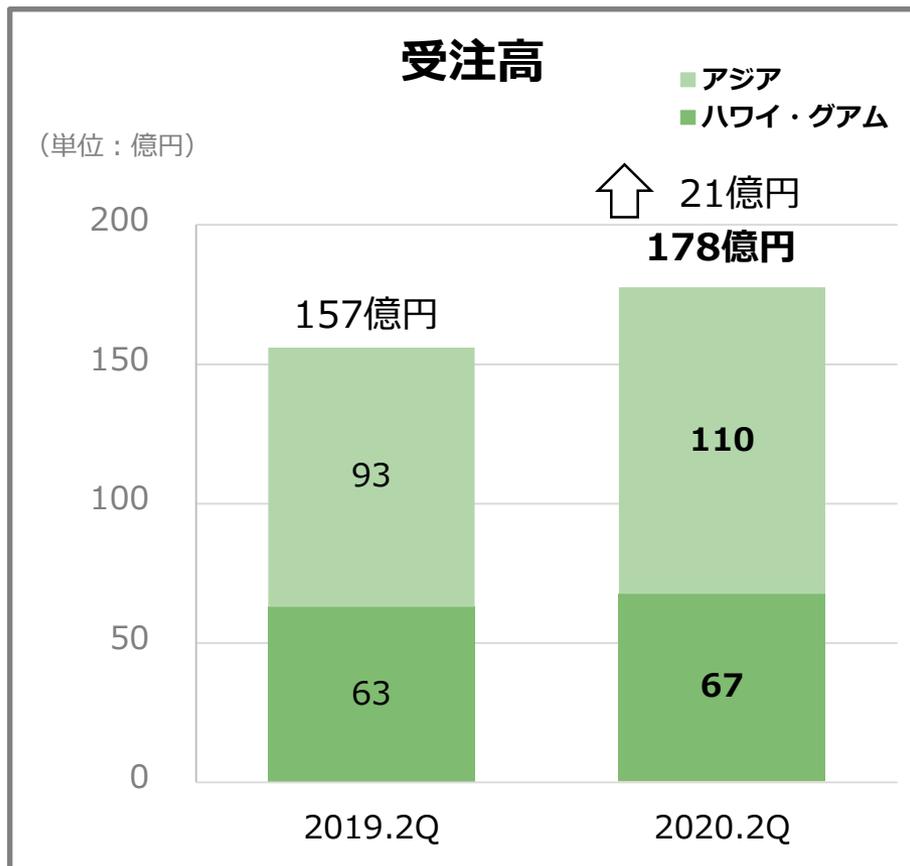
(7) (個別) 工事種別手持工事高の状況

手持工事高は、前年同期末を下回っているが、引き続き、高水準を維持している。



(8) (連結) 海外受注・完成工事高の状況 (地域別)

アジアには当期より連結子会社となった I E M S 社の実績が含まれている。それを除くと、海外は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、受注高は前年同期を上回るが、売上高は下回る結果となっている。



(9) (連結) キャッシュ・フローの状況

自己株式の取得等もあり、現金及び現金同等物は19億円減少した。

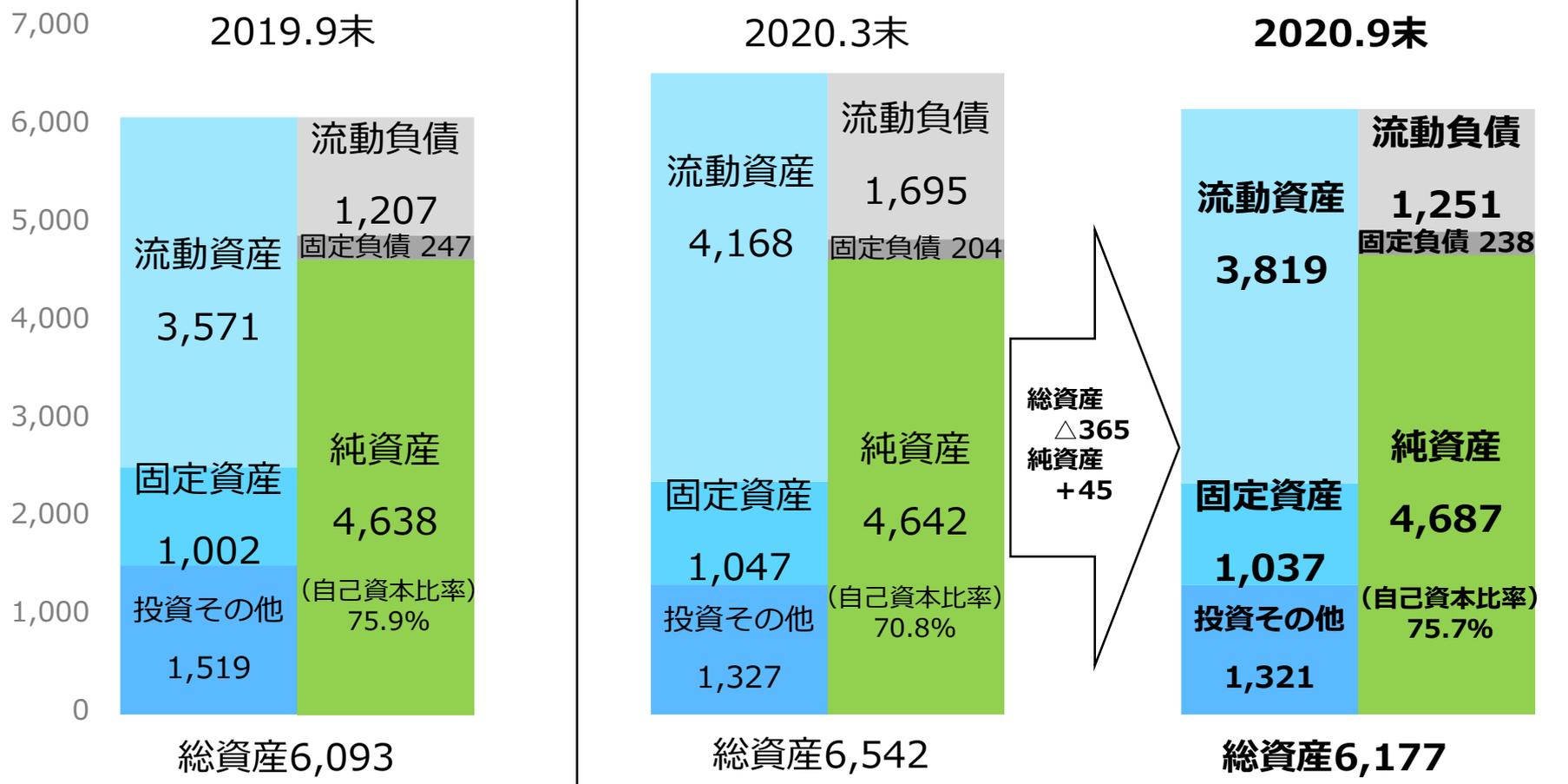
(単位:億円)

	2019.2Q	2020.2Q	
	実績	実績	主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	296	130	当期純利益の計上 +149 売上債権の増加 +544 仕入債務の減少 △306
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 117	△ 25	固定資産の取得 △20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 42	△ 122	自己株式の取得 △86 配当金の支払 △35
現金及び現金同等物の増減額	135	△ 19	
現金及び現金同等物の期末残高	1,607	1,470	

(10) (連結) 貸借対照表の状況

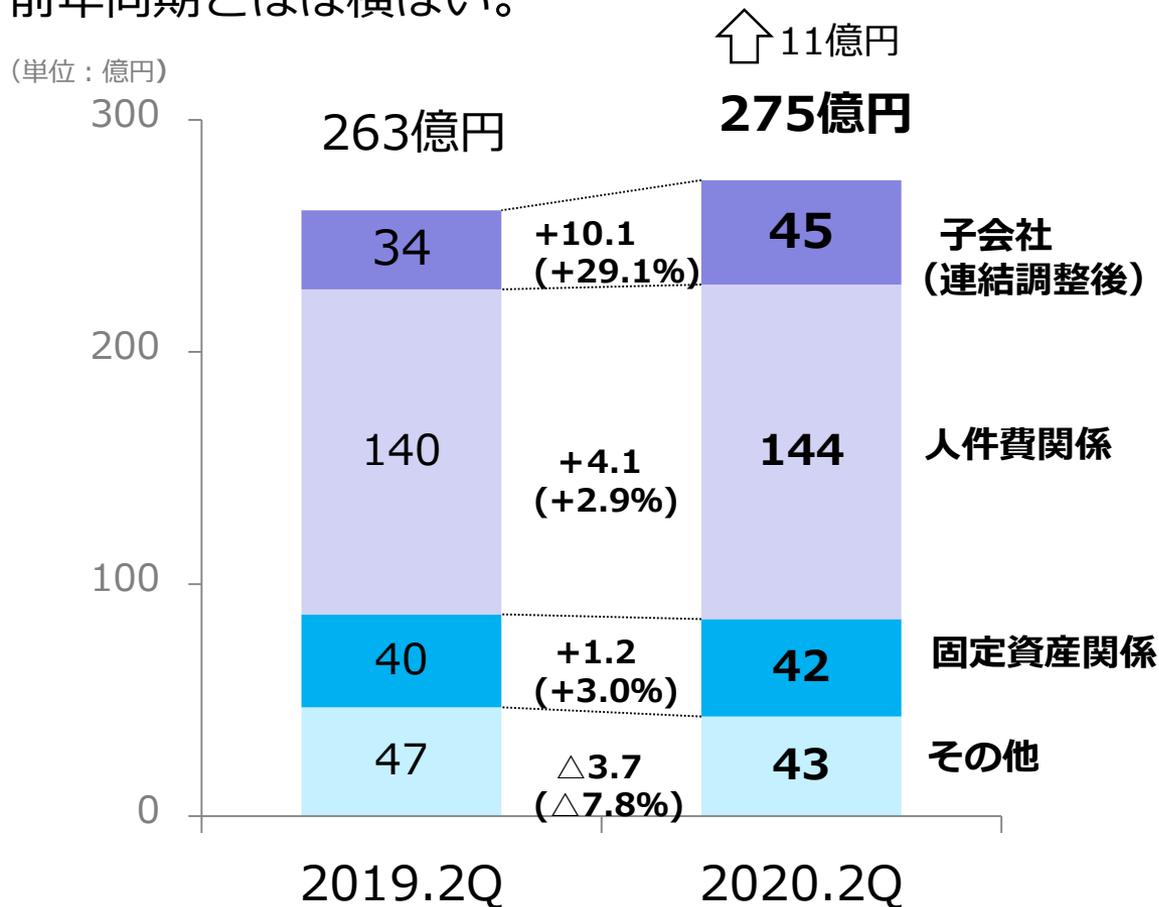
前期末と比較し、総資産は△365億円減少、純資産は45億円増加した。

(単位：億円)



(11) (連結) 販売費及び一般管理費の状況

販管費が前年同期より11億円増加した主な要因は、連結子会社となったIEMS社の販管費が8億円増加したため。
個別は、前年同期とほぼ横ばい。

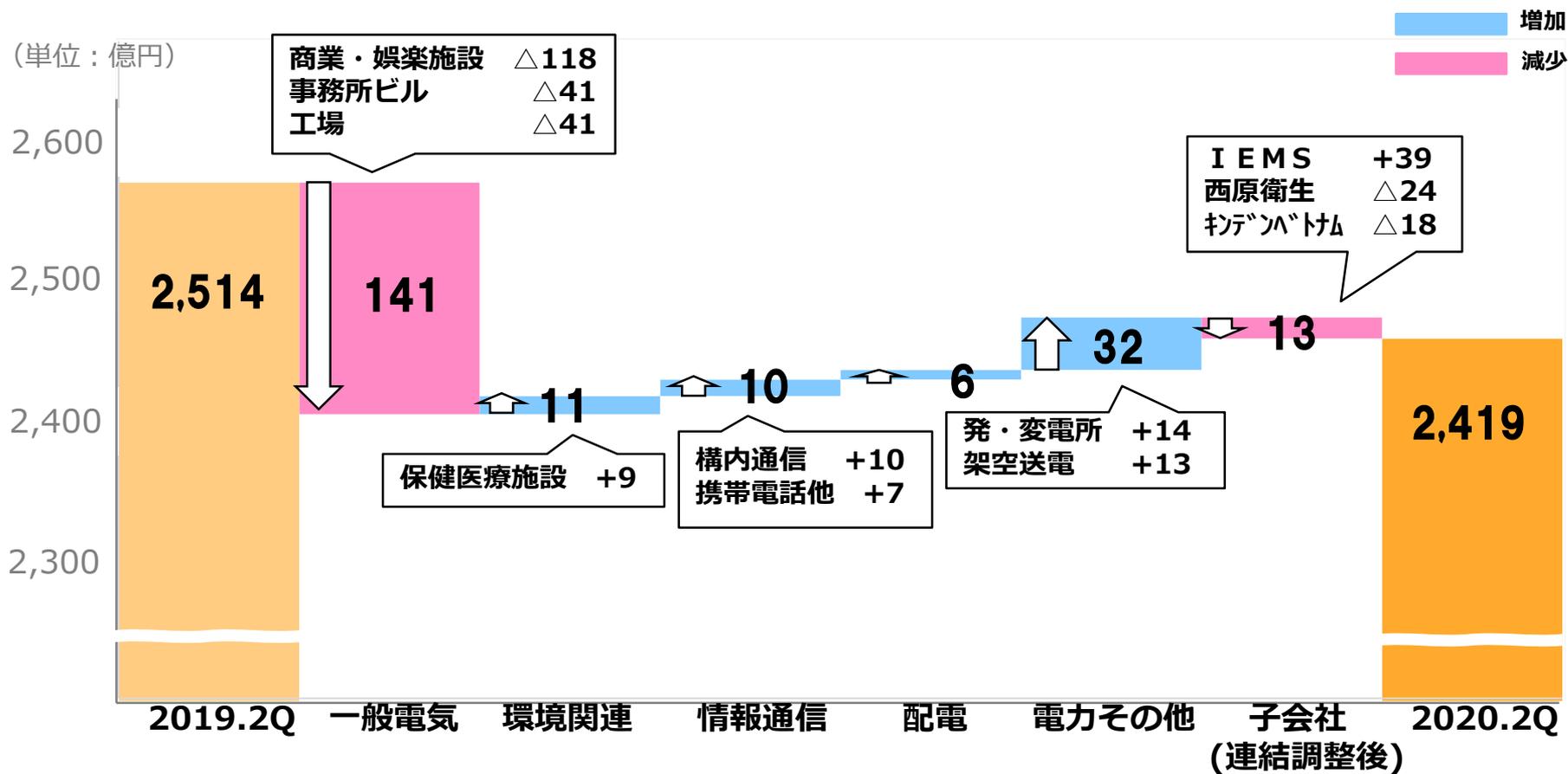


3. 業績分析

(1) (連結) 完成工事高の増減要因

■ 対前年同期94億円の減少

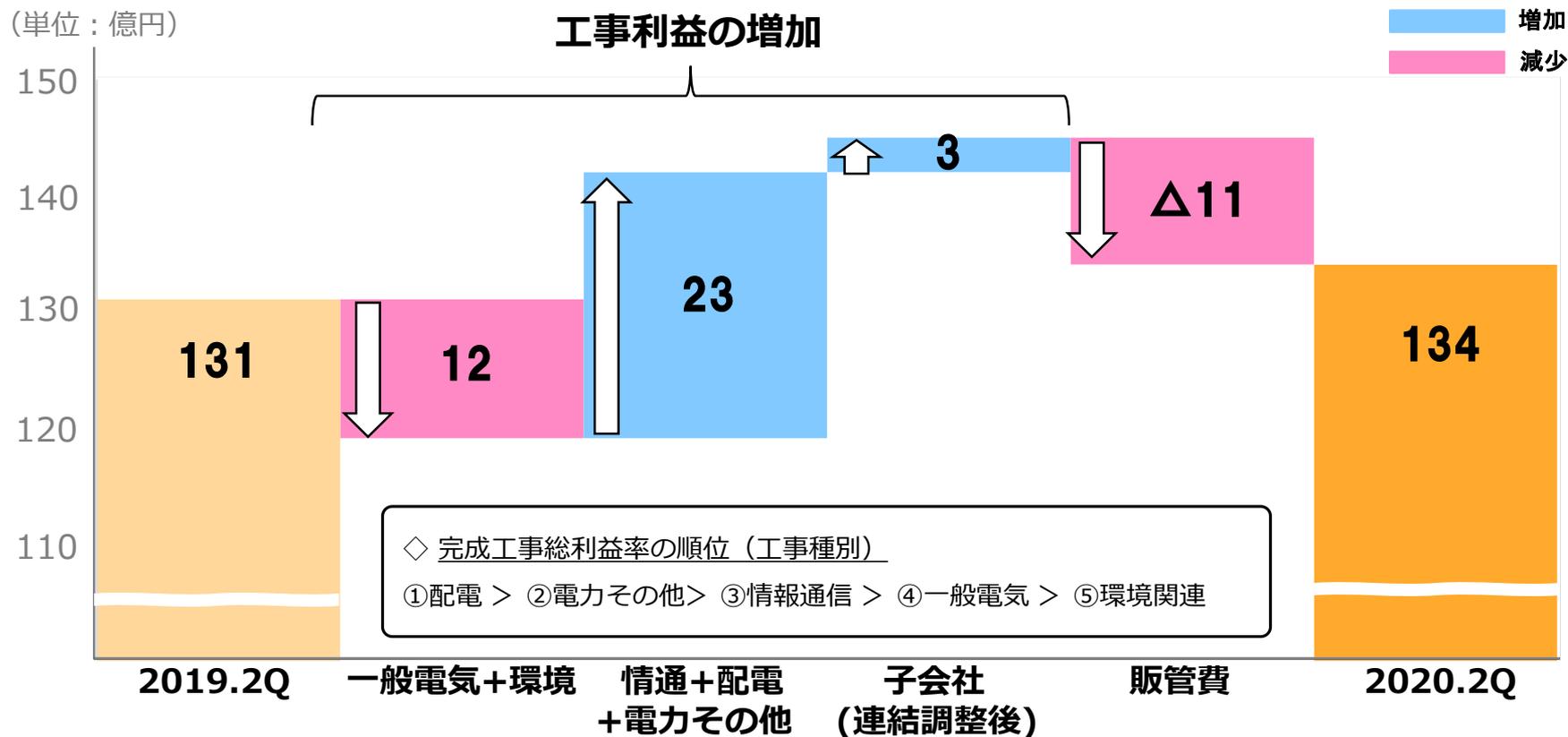
一般電気工事の減少は、期首手持工事高が前期首より減少したことなどによる。



(2) (連結) 営業利益の増減要因

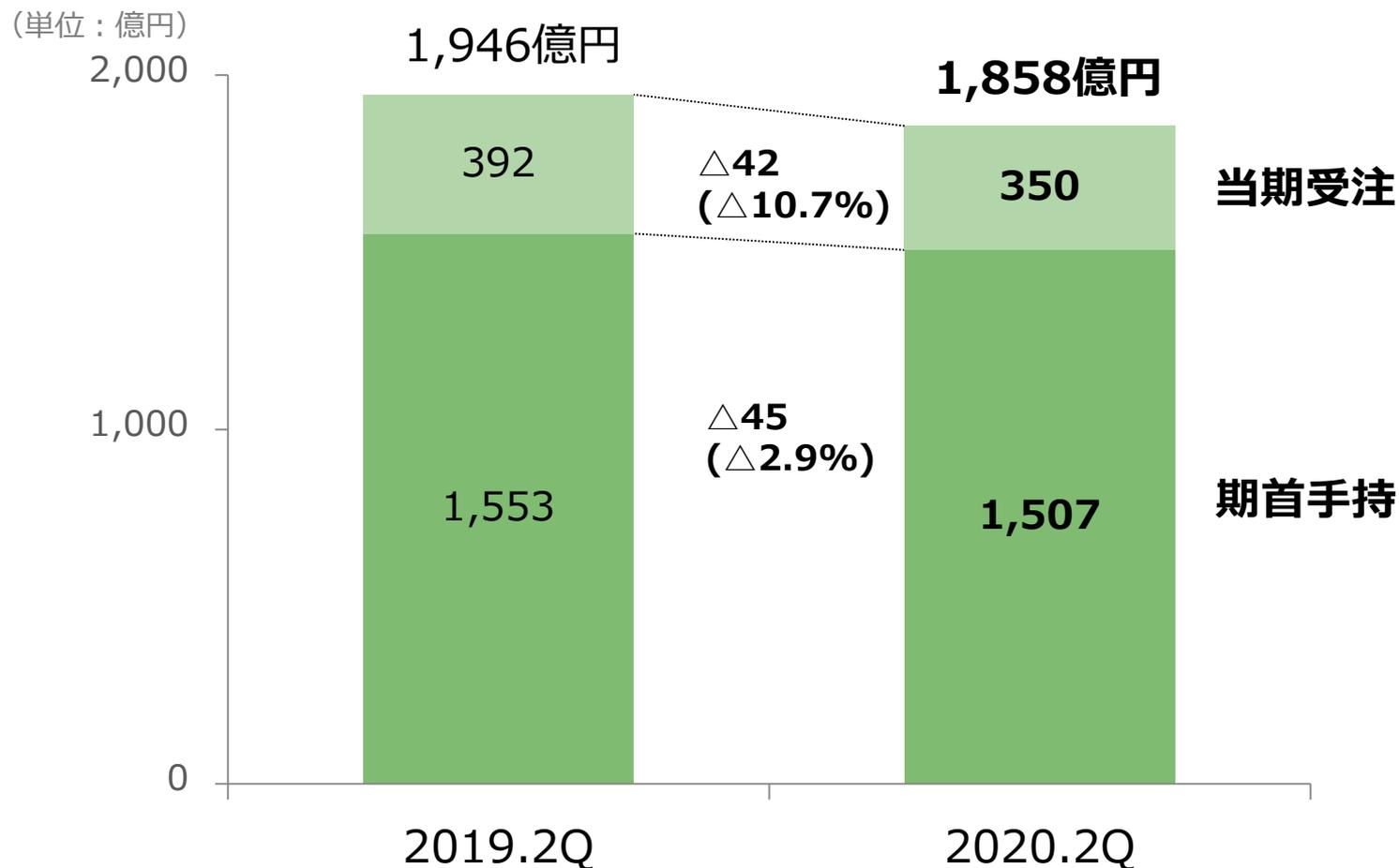
■ 対前年同期3億円の増加

きんでん個別の一般電気+環境関連工事の工事利益が減少し、当期から連結したIEMS社分の販管費等が増加したものの、情報通信+配電+電力その他工事の工事利益等が増加した。



(3) (個別) 完成工事高 受注時期別 (配電工事を除く)

期首手持工事高が前期首より減少していたことにより、工事進捗による完成工事高は減少した。当期受注からの当期完成工事も減少した。



4. 業績予想

(1) (連結) 通期予想

■ 完成工事高は減収

■ 各利益は減益

第2四半期の実績は予想を上回ったが、通期予想については、連結・個別共に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響による建設市場の動向等が不透明であり、現時点では前回予想を据え置く。

(単位:百万円)

	2019	通期予想	差額	率
完成工事高	585,905	532,000	△ 53,905	△ 9.2%
営業利益	45,026	34,200	△ 10,826	△ 24.0%
営業利益率	7.7%	6.4%	△ 1.3	—
経常利益	46,727	35,600	△ 11,127	△ 23.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	32,500	23,400	△ 9,100	△ 28.0%
1株当たり当期純利益	150.19 円	113.03 円	△37.16 円	

(2) (個別) 通期予想

(単位:百万円)

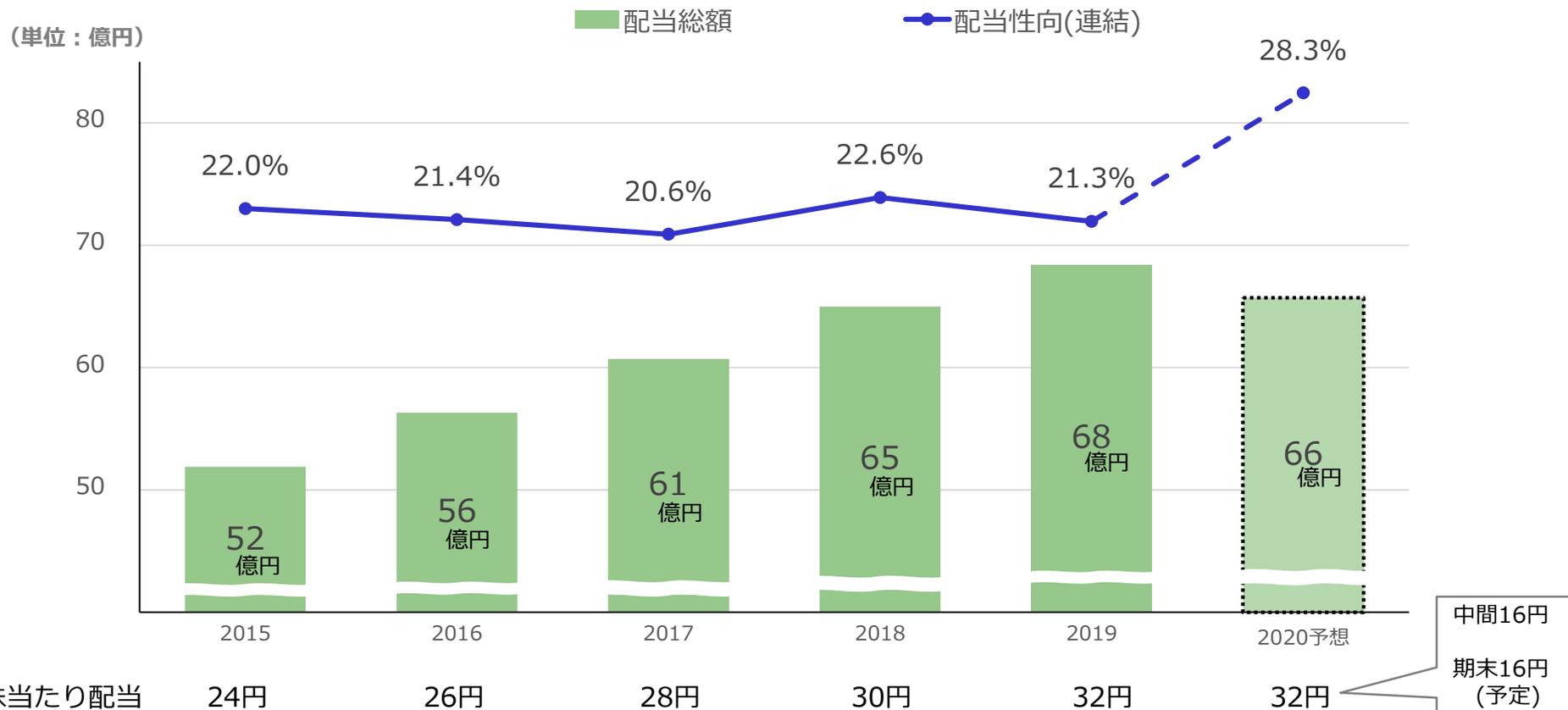
	2019	通期予想	差額	率
受注工事高	500,924	470,000	△ 30,924	△ 6.2%
完成工事高	516,196	465,000	△ 51,196	△ 9.9%
営業利益	37,701	30,000	△ 7,701	△ 20.4%
営業利益率	7.3%	6.5%	△ 0.8	—
経常利益	42,095	34,500	△ 7,595	△ 18.0%
当期純利益	30,576	24,000	△ 6,576	△ 21.5%
1株当たり当期純利益	141.30 円	115.93 円	△25.37 円	

5. 株主還元

(1) 配当について

配当方針

- ・長期にわたり安定的かつ継続的な配当を第一義とする(基本方針)
- ・業績等を考慮する
- ・年間配当の最低水準を14円と定める



(2) 自己株式取得について

取得総額200億円または、1,200万株を上限として実施中
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合5.53%)

- ・ 目的
経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行し、資本効率及び株主価値の向上を図るため
 - ・ 取得期間
2020年2月3日~2021年1月29日
 - ・ 取得した自己株式の累計(2020年9月末現在)
173億5千3百万円(10,571,900株)
- ※ 取得した自己株式は、2021年2月26日消却予定

【お問い合わせ先】

株式会社きんでん IR・広報部 IRチーム

〒531-8550 大阪市北区本庄東2丁目3番41号

電話 06-6375-6026